



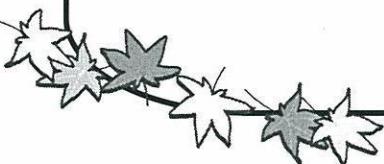
学生のためのガクモン講座

第1回 「わかりやすい文章の書き方」

メインナビゲーター：藤井満（新聞社記者）



研究で考えてきたこと、伝えたいことを、
相手にわかりやすい文章にするというのは、なかなか難しいものです。
大学ではアカデミックな文章、論文の作法を学ぶことが最重要ですが、
その土台として、そもそも日本語文章の書き方には
どのようなルールや工夫があるのかという基礎をおさえておくことも
大切ではないでしょうか？
そこで、今回は藤井満記者をお招きして
「わかりやすい文章の書き方」をテーマとしてお話しいただきます。
多数のご来場をお待ちしています。



講師プロフィール 藤井 満（ふじいみつる）

東京生まれ。新聞記者として、松山・京都・大阪・松江・輪島などに勤務。

著書 『二カラグアを歩く 革命と内戦の今昔』(1977年 日本図書刊行会)

『石鎚を守った男 峰雲行男の足跡』(2006年 創風社出版)

『消える村 生き残るムラ』(2006年 アットワークス)

日時：平成24年10月27日（土） 13:00～15:00

場所：響流館3F メディア演習室

対象：本学学生・大学院生・助教

参加費：無料

主催：総合研究室 助教連絡会

参加申し込み：当日参加可能ですが、資料の準備の関係上、また当日の変更の連絡のために、
可能な限り事前申し込みをお願いします。

申し込み先：助教 黒澤祐介 y-kurosawa@res.otani.ac.jp

※藤井氏の勤務の都合上、急きょ選挙関連行事などが入られた場合は、講師が変更になる可能性がありますことをご了承ください。